



2024年4月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年12月8日

上場会社名 インスペック株式会社

上場取引所 東

コード番号 6656 URL <https://www.inspec21.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼代表執行役員 (氏名) 菅原 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長

(氏名) 佐藤 保

TEL 0187-54-1888

四半期報告書提出予定日 2023年12月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年4月期第2四半期の業績(2023年5月1日～2023年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第2四半期	156	50.5	340		354		363	
2023年4月期第2四半期	316	69.5	248		259		258	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期第2四半期	90.77	
2023年4月期第2四半期	65.86	

(注)2023年4月期第2四半期及び2024年4月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年4月期第2四半期	3,444	1,052	25.4	218.14
2023年4月期	3,977	1,407	31.0	309.68

(参考)自己資本 2024年4月期第2四半期 873百万円 2023年4月期 1,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年4月期		0.00		3.00	3.00
2024年4月期		0.00			
2024年4月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年4月期の業績予想(2023年5月1日～2024年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,730	24.5	200		200		210		52.45

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注)当社では年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年4月期2Q	4,006,800 株	2023年4月期	3,983,800 株
期末自己株式数	2024年4月期2Q	192 株	2023年4月期	156 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年4月期2Q	4,004,101 株	2023年4月期2Q	3,919,681 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2023年5月1日～2023年10月31日)における世界経済は、ウクライナ情勢の長期化やインフレ抑制に向けた欧米の金融引き締めの影響を受け、依然として景気減速が懸念されております。わが国経済につきましては、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調で推移する一方で、持続的な円安や原材料及び資源価格の高騰により、先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当社の当第2四半期累計期間の売上状況につきましては、国内において一部の納入先の設備投資計画が後ろ倒しになったことが影響し、当社製品の納入時期も下半期にずれ込む結果となりました。また、海外におきましては中国経済が減速している影響を受け、一部の中国向け案件の受注・売上計画が当初計画より後ろ倒しになったことなどにより、当該期間の売上高は期初の計画を下回りました。

一方、当第2四半期累計期間の受注状況につきましては、当社の主力製品でありますロールtoロール型検査装置及び高性能フラットベッド型検査装置の受注をそれぞれ国内外の顧客から獲得し、受注額は799百万円(前年同期比9.5%増)となり、当第2四半期会計期間末における受注残高は1,851百万円(前年同期比3.6%増)となりました。昨年より続いていた半導体市場縮小の動きにも底打ちの兆しが見られることなどから、さらなる受注獲得に向けて全社一丸となって取り組んでまいります。

新事業であるロールtoロール型シームレスレーザー直接描露光装置につきましては、電気自動車の普及に伴いバッテリーマネジメントシステム向けなどの車載用フレキシブルプリント基板の需要が増加し、国内外のフレキシブルプリント基板メーカーより多くの問い合わせを頂いております。現在、複数の顧客と装置導入に向けた評価を行っており、「長尺シームレス両面同時露光」による品質の安定性、高スループット及び低ランニングコストなどについて高い評価を頂いております。こうした需要に迅速に対応するべく、量産機の製作に着手するなど、今後更に加速する自動車の電子化、電動化による市場のニーズに応えるべく、引き続き受注獲得に努めてまいります。

以上の結果、当社の当第2四半期累計期間の売上高は156百万円(前年同期比50.5%減)、営業損失は340百万円(前年同期は営業損失248百万円)、経常損失は354百万円(前年同期は経常損失259百万円)、四半期純損失は363百万円(前年同期は四半期純損失258百万円)となりました。

当社は「基板検査装置関連事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の業績は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における資産の部は、前事業年度末に比べ533百万円減少し、3,444百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産927百万円の減少、電子記録債権353百万円の減少及び仕掛品742百万円の増加によるものであります。

負債の部では、前事業年度末に比べ178百万円減少し、2,391百万円となりました。これは主に、長期借入金77百万円の減少によるものであります。

純資産の部では、前事業年度末に比べ354百万円減少し、1,052百万円となりました。これは主に、四半期純損失363百万円の計上によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ4百万円減少し、432百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は96百万円となりました。これは主に、売上債権の減少額1,281百万円、棚卸資産の増加額761百万円及び税引前四半期純損失358百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は15百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出25百万円、無形固定資産の取得による支出16百万円及び定期預金の純増減額による収入26百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は86百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出77百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月期の通期の業績予想につきましては、2023年6月9日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細は本日(2023年12月8日)公表の「業績予想の修正並びに剰余金の配当予想(期末配当)に関するお知らせ」をご参照ください。なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	605,141	573,366
受取手形、売掛金及び契約資産	993,780	65,833
電子記録債権	366,149	12,701
仕掛品	626,064	1,368,835
原材料及び貯蔵品	201,545	220,063
その他	53,275	131,543
流動資産合計	2,845,957	2,372,343
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	461,686	452,749
構築物（純額）	24,042	22,652
機械及び装置（純額）	391,855	325,670
車両運搬具（純額）	137	102
工具、器具及び備品（純額）	22,852	31,812
リース資産（純額）	25,062	20,908
土地	92,440	95,440
建設仮勘定	46,068	52,008
有形固定資産合計	1,064,145	1,001,345
無形固定資産		
その他	40,426	48,836
無形固定資産合計	40,426	48,836
投資その他の資産		
その他	27,405	21,787
投資その他の資産合計	27,405	21,787
固定資産合計	1,131,977	1,071,969
資産合計	3,977,935	3,444,313
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,773	72,452
短期借入金	1,200,000	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	154,224	154,224
未払法人税等	33,897	4,734
製品保証引当金	4,388	664
賞与引当金	32,945	34,255
役員賞与引当金	6,000	6,000
その他	105,429	56,508
流動負債合計	1,625,658	1,528,838
固定負債		
長期借入金	815,534	738,422
長期未払金	106,591	106,591
資産除去債務	315	316
リース債務	22,390	17,471
固定負債合計	944,830	862,800
負債合計	2,570,488	2,391,638

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年4月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	802,566	810,462
資本剰余金	203,621	211,516
利益剰余金	227,834	△147,566
自己株式	△372	△426
株主資本合計	1,233,649	873,985
新株予約権	173,796	178,689
純資産合計	1,407,446	1,052,674
負債純資産合計	3,977,935	3,444,313

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)
売上高	316,506	156,791
売上原価	197,693	82,293
売上総利益	118,813	74,498
販売費及び一般管理費	367,603	415,185
営業損失(△)	△248,789	△340,687
営業外収益		
受取利息	281	4
為替差益	2,912	3,994
補助金収入	93	3,630
雑収入	1,002	949
その他	555	994
営業外収益合計	4,845	9,573
営業外費用		
支払利息	12,913	15,803
貸倒引当金繰入額	—	2,981
手形売却損	—	2,132
株式交付費	1,007	1,291
シンジケートローン手数料	1,960	1,306
その他	94	—
営業外費用合計	15,976	23,515
経常損失(△)	△259,919	△354,629
特別利益		
固定資産売却益	—	49
新株予約権戻入益	1,825	—
特別利益合計	1,825	49
特別損失		
固定資産圧縮損	—	3,630
特別損失合計	—	3,630
税引前四半期純損失(△)	△258,094	△358,210
法人税、住民税及び事業税	580	1,611
法人税等調整額	△522	3,628
法人税等合計	57	5,239
四半期純損失(△)	△258,152	△363,449

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失 (△)	△258,094	△358,210
減価償却費	57,503	97,111
株式報酬費用	9,397	10,494
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	2,981
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△1,578	△3,723
支払利息	12,913	15,803
シンジケートローン手数料	1,960	1,306
株式交付費	1,007	1,291
受取利息及び受取配当金	△281	△4
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△49
固定資産圧縮損	—	3,630
補助金収入	—	△3,630
売上債権の増減額 (△は増加)	410,673	1,281,394
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△583,235	△761,288
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	△80,831
仕入債務の増減額 (△は減少)	△117,106	△16,321
未払金の増減額 (△は減少)	5,035	△2,232
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△32,268	△37,385
契約負債の増減額 (△は減少)	△34,692	—
その他	17,016	△17,048
小計	△511,749	133,287
利息及び配当金の受取額	0	4
利息の支払額	△10,337	△14,940
法人税等の支払額	△1,159	△21,470
法人税等の還付額	711	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△522,535	96,880
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△87,870	△25,620
有形固定資産の売却による収入	—	49
無形固定資産の取得による支出	△15,900	△16,467
定期預金の純増減額 (△は増加)	△15,001	26,997
投資活動によるキャッシュ・フロー	△118,772	△15,041
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	235,768	8,897
短期借入金の純増減額 (△は減少)	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△87,832	△77,112
リース債務の返済による支出	△4,691	△5,201
配当金の支払額	△11,227	△11,905
シンジケートローン手数料の支払額	△1,960	△1,306
自己株式の取得による支出	—	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー	530,057	△86,683
現金及び現金同等物に係る換算差額	111	66
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△111,138	△4,777
現金及び現金同等物の期首残高	558,774	437,131
現金及び現金同等物の四半期末残高	447,635	432,353

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。